

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ジューク	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ジューク

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

比較対照ボール：サイド・スワイフ

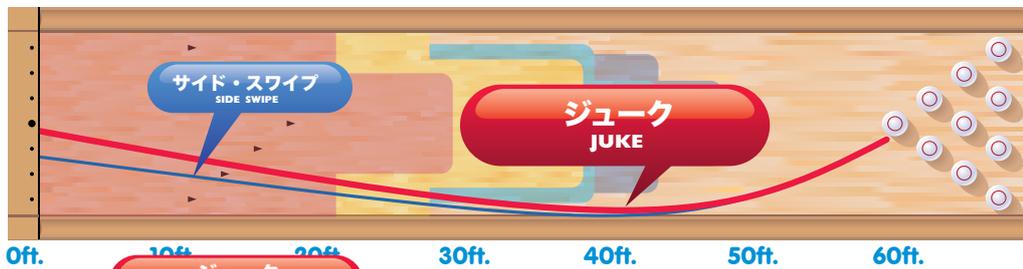
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

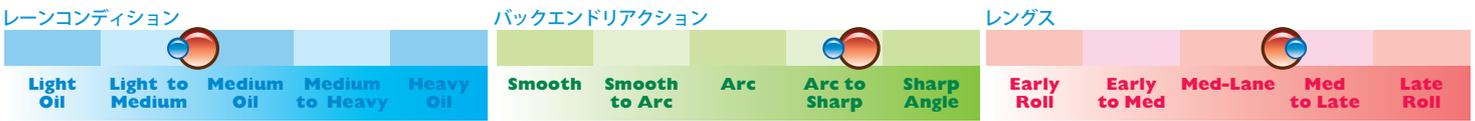
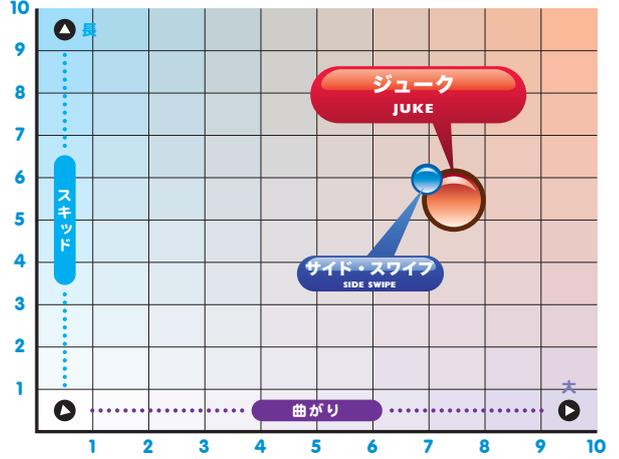
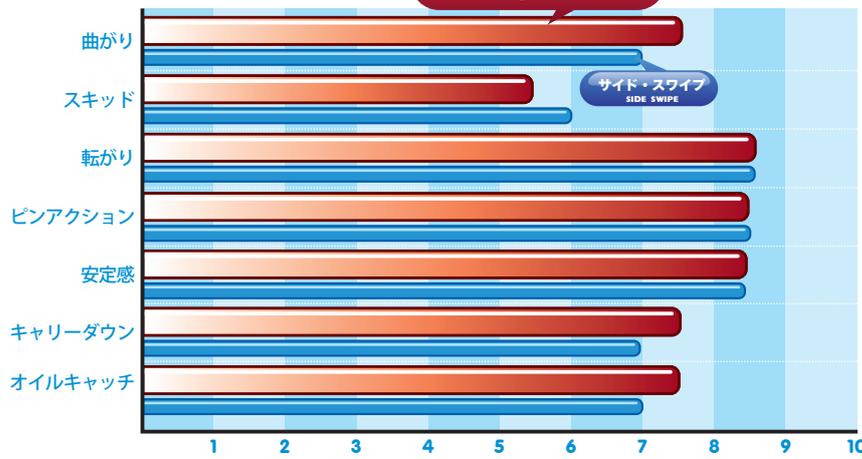
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

SWERVEで一躍世界のピンアクションの常識を変えたHYPER SHOCK TECHNOLOGY。そのTechnologyを惜しげもなくUpper Mid Performance(UMP)領域に採用したIMPLUSE。そして昨年11月発売されたCoverstockにもHYPER SHOCK TECHNOLOGYを組み込んだDOUBLE HYPER SHOCK TECHNOLOGYを発表したTYRANTと、コロンビア社の開発は今でもブレることなく本物を追い続けています。

今回発売するJUKEはMid Level Performance(MP)領域でModified SD Coreを搭載した運動性能が”Length with Angular Backend”という、日本人が最も好む先での動きが協調されたボールです。

テストングした感想は、データがない状態でのテストドライブでは開発コンセプト通り「凄く先での動きが協調されている」と感じたのが第一印象です。Coreの形状を予想できないほど、先での動きが協調されていたので、後からデータを確認したときに「このようなボールができるんだ」とある意味、「良い期待の裏切られ方」を感じたほどです。

最近のコロンビア社のMP領域ではこれほど先で動きが協調されているボールは久しぶりというか、「非常に面白い出来だ」と思います。先で動く割にはオイルに流されたりする挙動は少なく感じますが、ドライゾーンでの向きの変わり方がはっきり見えるので、出し戻すラインを好んで投げたくなります。その軸の向きの変わり方や軸の起き方がしっかりと縦目にフィニッシュしてくるので、しっかり107番ピンまで絡むのも見て取れます。先で動きが協調される性能のボールで一番の着目点は、先で動くポイントまでに如何に安定して走り、オイルに弱くては困りますが噛み過ぎないことだと思います。このJUKEは非常にバランス良く、走りとキャッチの整えられていると思います。先で動くボールの性能を追いかけられている方は、満足して頂ける出来だと思います。

特記事項

近年のコロンビア社にはなかった、先での動きを強調させた”Angular”なボールです。出し戻しのラインでも十分板目を多く使えます。